

実施計画事業調書

平成19年度

委員会名 いきいき委員会

(単位：円)

所属 学校教育部 教育政策室 北条青少年教育センター

事業名 **青少年健全育成事業（北条）**

事業費総額 3,224,524

特定財源	国補助	
	府補助	1,750,000
	その他	210,640
一般財源	1,263,884	

款	09	教育費
項	05	社会教育費

事業費内訳	報償金	1,290,000
	費用弁償	9,720
	消耗品費	330,922
	燃料費	780
	賄材料費	54,092
	使用料及び賃借料	1,539,010

事業の概要

1. 子ども広場
2. 長期教室（英語、スポーツクラブ、自然体験・ストリートダンス、バンド、学習会、習字）
3. 短期教室（パソコン、料理、卓球、クラフト（木・皮）、バドミントン、バレーボール）
4. 特別活動（野外活動、スポーツ大会、魚釣り体験、平和ビデオ鑑賞会、こどもまつり、餅つき大会、アイススケート、ファミリー体験、ファミリーハイキング、ファミリーキャンプ）
5. その他事業（農園、乳幼児広場、不登校児童生徒支援事業、情報発信事業）

事業の目的

1. 青少年の健やかな育成及び人権意識の高揚を図る。
2. 青少年の自主的、主体的な諸活動の発展向上を支援する。
3. 人権教育の推進を図る。

事業のスケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども広場（月～金） 2. 長期教室 <ol style="list-style-type: none"> ①第1・3土曜（英語・スポーツクラブ） ②第2・4土曜（自然体験・ストリートダンス・バンド） ③第1・3水曜（学習会） ④第2・4水曜（習字） 3. 短期教室、4. 特別活動、5. その他事業：適時 	人権行政推進の視点	新規登録者への説明会や各種の事業を通じて子供の発達段階に応じた人権教育や啓発を進める場を提供する。
-----------	---	-----------	---

事業の評価	指標	成果指標	事業参加率				
	目標値	平成22年度までに		実績値	平成19年度	平成18年度	平成17年度
		指標を	80%	にする。	62.3%	74.8%	60.9%
人件費	57,000,000円		（正職員 5.8人）	（非常勤職員等 1.6人）			

事業の成果

体育館やグラウンドの利用において、社会人・中高大学生と児童との異年齢交流、他市をも含む違う学校等、スポーツ・文化・音楽・学習活動など自主的な活動を通じて子供たちが互いに交流を深めることができた。

青少年や保護者の学習機会の充実・子育て支援・地域のネットワークづくりをねらいとして、各種事業を実施し、事業案内を市内全域に発信することにより参加年齢層も広がり、ファミリーの絆、参加者相互、地域の交流も深まりリピーターも増えた。センターだよりを地域に1,300部、保育所、幼稚園、小・中学校に1,200部配布した。

人権行政推進の成果

センター事業や新規登録者の説明会等を通じて、参加者や利用者の人権問題の啓発を行った。

今後の方向性

○継続 廃止検討 完了

説明

平成19年度事業に加え、平成20年度から障害者の放課後の居場所づくりの一助として、障害者・障害者団体へ呼びかけセンター利用を促進させるとともに、近隣の大学やおよそ大学生の年齢に該当する青年にボランティアリーダーの呼びかけを行い、各種事業や日常のこどもたちとの交流に携わってもらうことにより、その青年の社会体験の場を提供することにより青少年健全育成の一助とする。

